

諏訪ノ森を象徴する3つの「島」

●諏訪ノ森らしさに配慮したデザイン

水辺の街にふさわしい、光と風、土と緑を楽しめる広場をつくります。そこで、諏訪ノ森地域を象徴する要素から、3つの「島」を設けます。

- ・ステンドグラスの「島」：東側商店街と西側商業施設をつなぎます。
- ・旧駅舎の「島」：オープンカフェやイベントに活用します。
- ・松の木の「島」：無機質になりがちな交通広場を彩ります。



ステンドグラスの「島」



旧駅舎の「島」



松の木の「島」

文化財を有機的につなぎ、有効に活用

●文化財的価値の継承に配慮したデザイン

文化財である旧駅舎に加えて、地域で親しまれている要素：ステンドグラスやホームの柱架構、松の木、白砂等を、新駅のデザイン方針に積極的に取り入れます。その際に、それらが単なる歴史的なオブジェとして存在するのではなく、現代においても有効に活用されるように個々の要素を適切に配置し、それぞれを有機的につなぐ家具や外構のしつらえを施します。



安全・安心で、皆が交流できる広場

●人の交流や住民の活用を意識したデザイン

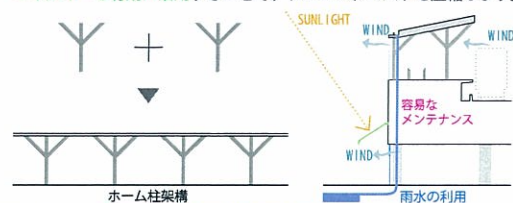
歩行者や自転車、車の流れを妨げず、各々の動線を整理できるように、家具や照明、サインを配置し、皆が安心して活動できるような広場とします。段差を設けないことで様々なイベントへの対応が可能です。また、視線を遮る壁を設けず、ベンチを緩やかに湾曲させることは、長時間のたむろや犯罪抑止に有効です。



単純な施工方法と自然エネルギー活用

●コスト削減に配慮した工夫

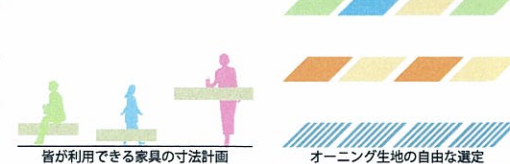
ホーム柱架構から内外壁仕上げ、家具やしつらえに至るまで、単純な構造システムと部材の統一を徹底し、イニシャルコストの低減を図ります。また、西日や風雨を遮りながら通風や雨水を利用するなど自然エネルギーを有効に活用することで、ランニングコストを圧縮します。



柔軟な計画変更が可能なデザイン方針

●市民ニーズの取り入れ方についての工夫

旧駅舎を含む3つの「島」の活用方法や、それを取り巻く家具や照明、オーニング、サインの配置、素材など市民のニーズを取り入れながら柔軟に対応可能な計画となっています。デザイン方針に即しながら、各要素の寸法、高さ、素材など適切に選定し、ユニバーサルデザインに配慮した広場とします。



3つの「島」を回遊する駅前広場

水辺空間の魅力的なこの地域にふさわしい、3つの「島」を回遊するような広場のある駅を提案します。



諏訪ノ森を象徴する3つの「島」を設け、それぞれを有機的につなげるように家具や照明、サインを計画します。ホーム上屋は陰影の深い表情とします。



自由通路にはステンドグラスの「島」を設け、皆の交流の場とします。



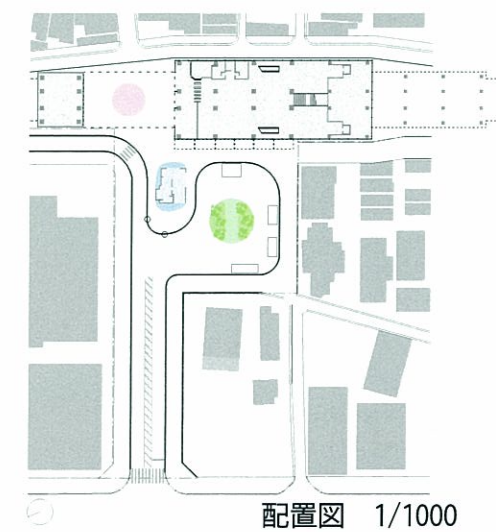
旧駅舎を今後も有効に活用します。歩行者天国時も一体的に利用できます。



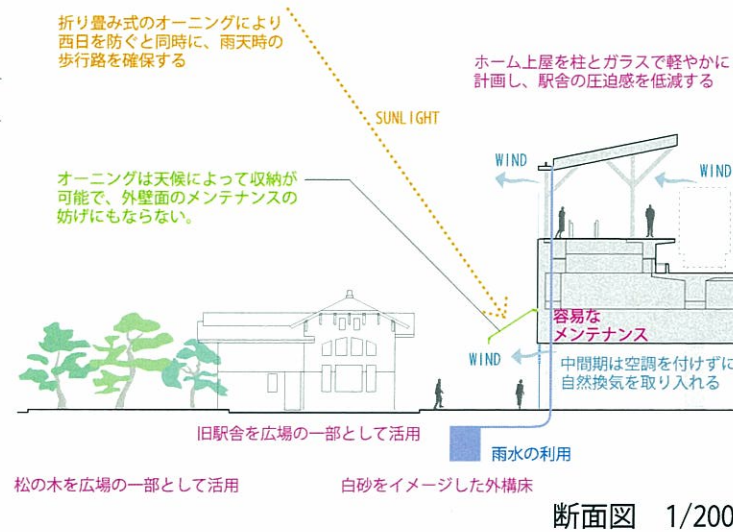
折り畳み式オーニングで西日や風雨を遮り、高齢者の歩行を容易にします。



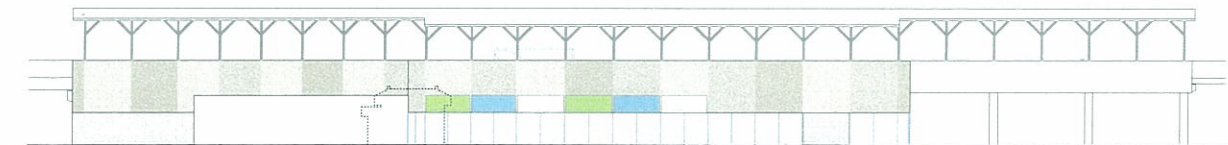
「島」と家具類により動線を適切に分離し、安心・安全に配慮します。



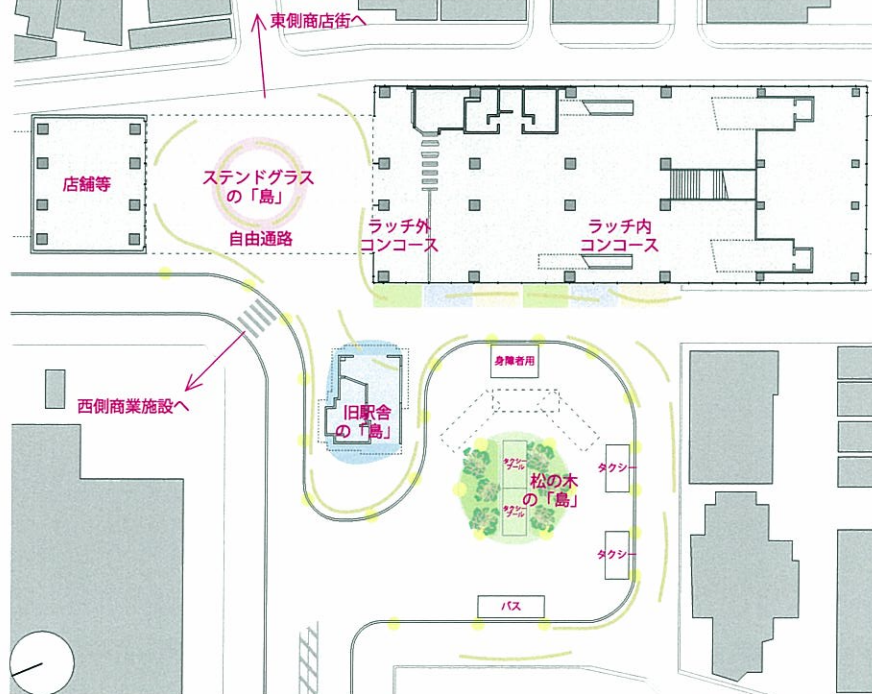
配置図 1/1000



断面図 1/200



立面図 1/400



平面図 1/400

仕上概要一覧

- 新駅舎関連
外壁：石質系
コンコース床：石質系
コンコース壁・天井：金属パネル、木質等
自由通路床：石質系(白砂調仕上)
自由通路壁・天井：金属パネル、木質等

- 駅前交通広場・駅前線関連
歩道舗装：石質系(白砂調仕上)
車道舗装：ガラス入アスファルト
家具：木質系、金属系
植栽：松、樺、ハナミズキ等

全体概算事業費

- 新駅舎関連
必須提案部分：477,000,000円
その他の部分：45,000,000円

- 駅前交通広場・駅前線関連
必須提案部分：115,000,000円
その他の部分：10,000,000円
■総額
必須提案部分：592,000,000円
その他の部分：55,000,000円

使用素材のイメージ・意匠モチーフ



ステンドグラス

ステンドグラスの「島」にて色ガラスの照明を計画します。



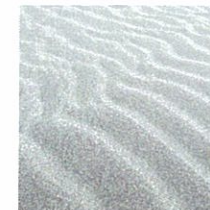
旧ホームの柱架構

旧ホームの柱の意匠を、新規駅舎ホーム架構に踏襲します。



松の木

松の木の「島」にて植樹し、内装にも松材を取り入れます。



白砂

駅前交通広場などで、砂浜をイメージした床仕上とします。